

9-4 九州南部の地震活動（1997年11月～1998年4月）

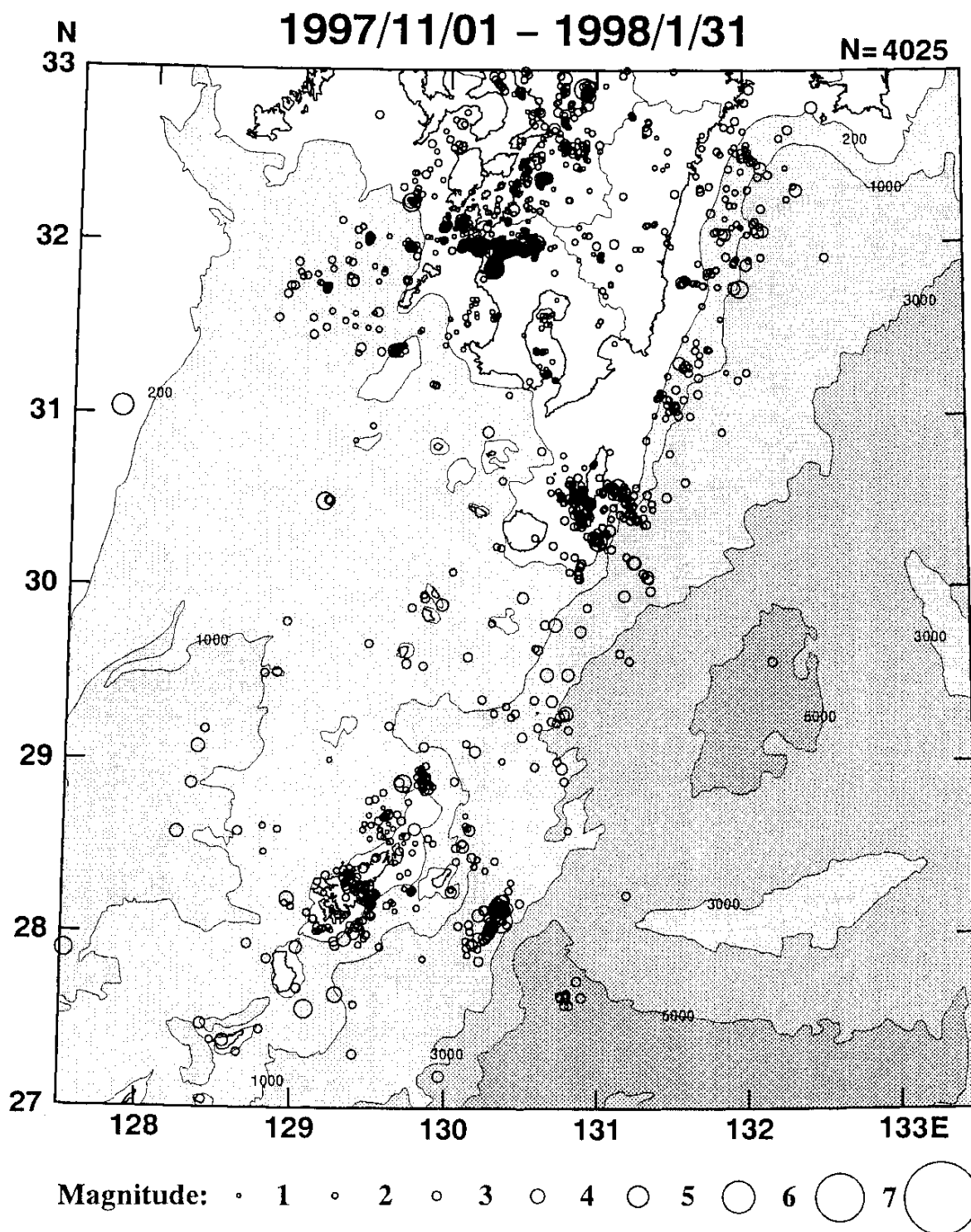
Seismic Activity in the Southern Kyushu District (November, 1997-April, 1998)

鹿児島大学 理学部

Faculty of Science, Kagoshima University

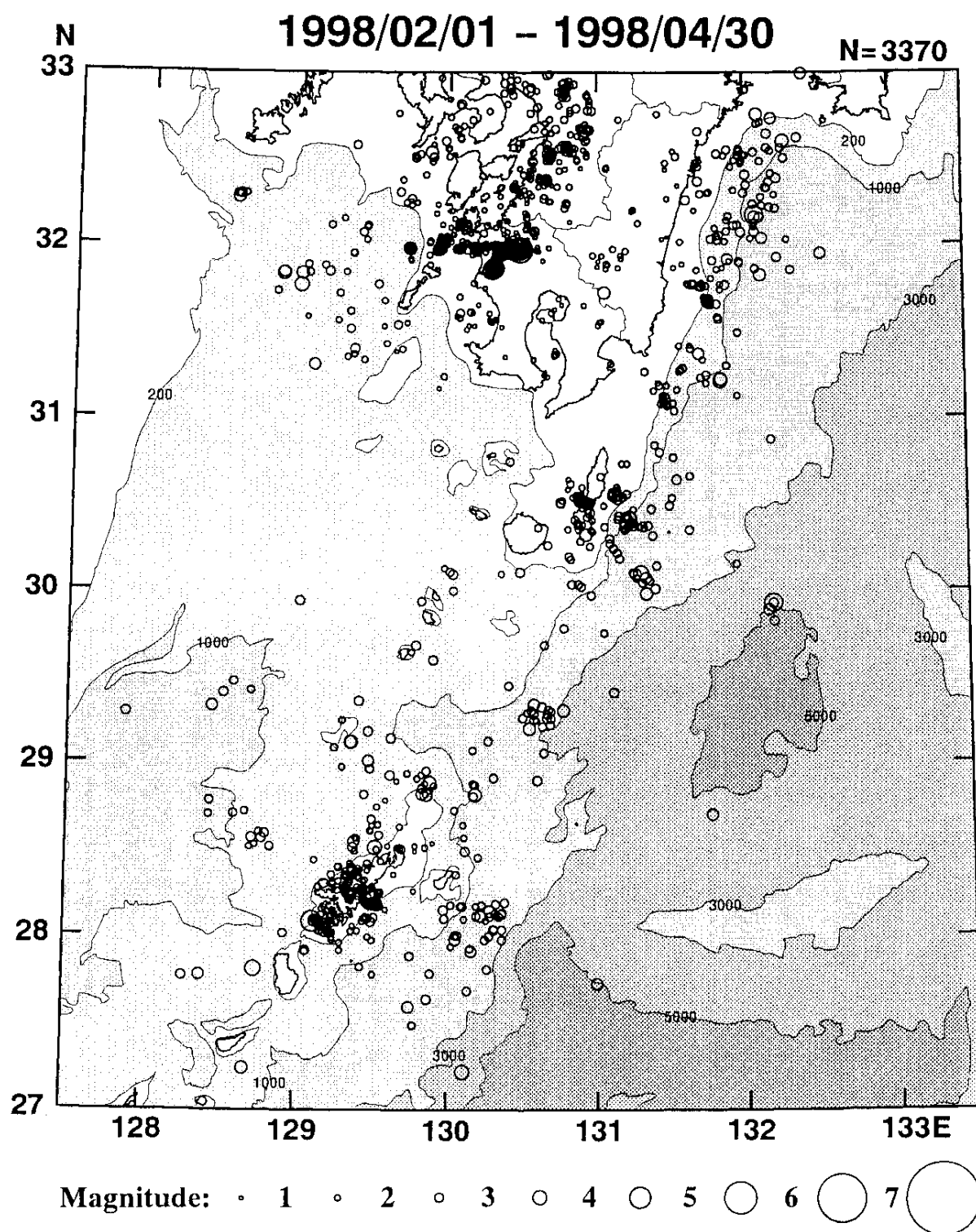
1997年11月～1998年1月、1998年2月～4月の各3ヶ月間に震源決定された浅い地震（深さ ≤ 30 km）および深い地震（深さ > 30 km）の震央分布を第1図～第4図にそれぞれ示す。また、1997年11月～1998年4月の期間の各1ヶ月毎の震央分布を第5図～第10図に示す。さらに、第11図には、1997年11月～1998年4月に発生した主な地震のメカニズム解を示す（ただし、1997年3月26日と5月13日の鹿児島県北西部地震の余震は除く）。

この期間は、1997年3月26日と5月13日に鹿児島県北西部で発生したM6.5およびM6.3の地震の余震活動が活発であった（別項に掲載）。この他では、1995年10月に喜界島近海で発生した地震（M6.7, M6.6）の余震域で1998年1月6～8日にM4クラスを含むややまとまった活動、1996年9月の種子島で発生した地震（M5.7）の余震、1996年10月と12月の日向灘の地震（ともにM6.6）の余震域の南部と北方での1998年4月中旬から下旬のM4クラスを含む活動、期間を通しての奄美大島南部での活動が目立つ程度であり、全体的には比較的静穏であった。



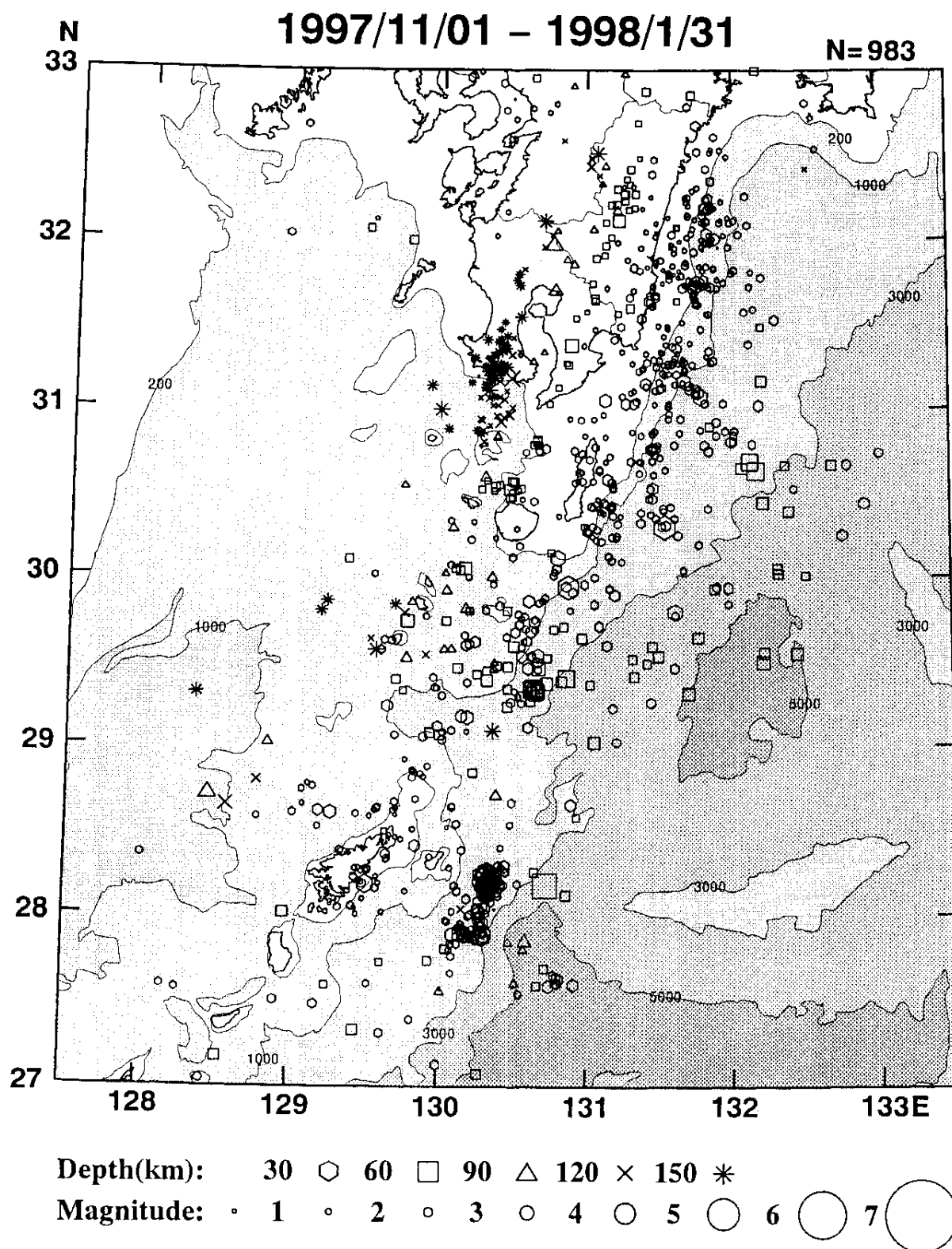
第1図 深さ $\leq 30\text{km}$ の地震の震央分布 (1997年11月~1998年1月)

Fig.1 Epicenter Distribution fro depth $\leq 30\text{km}$ (Nov., 1997-Jan., 1998).



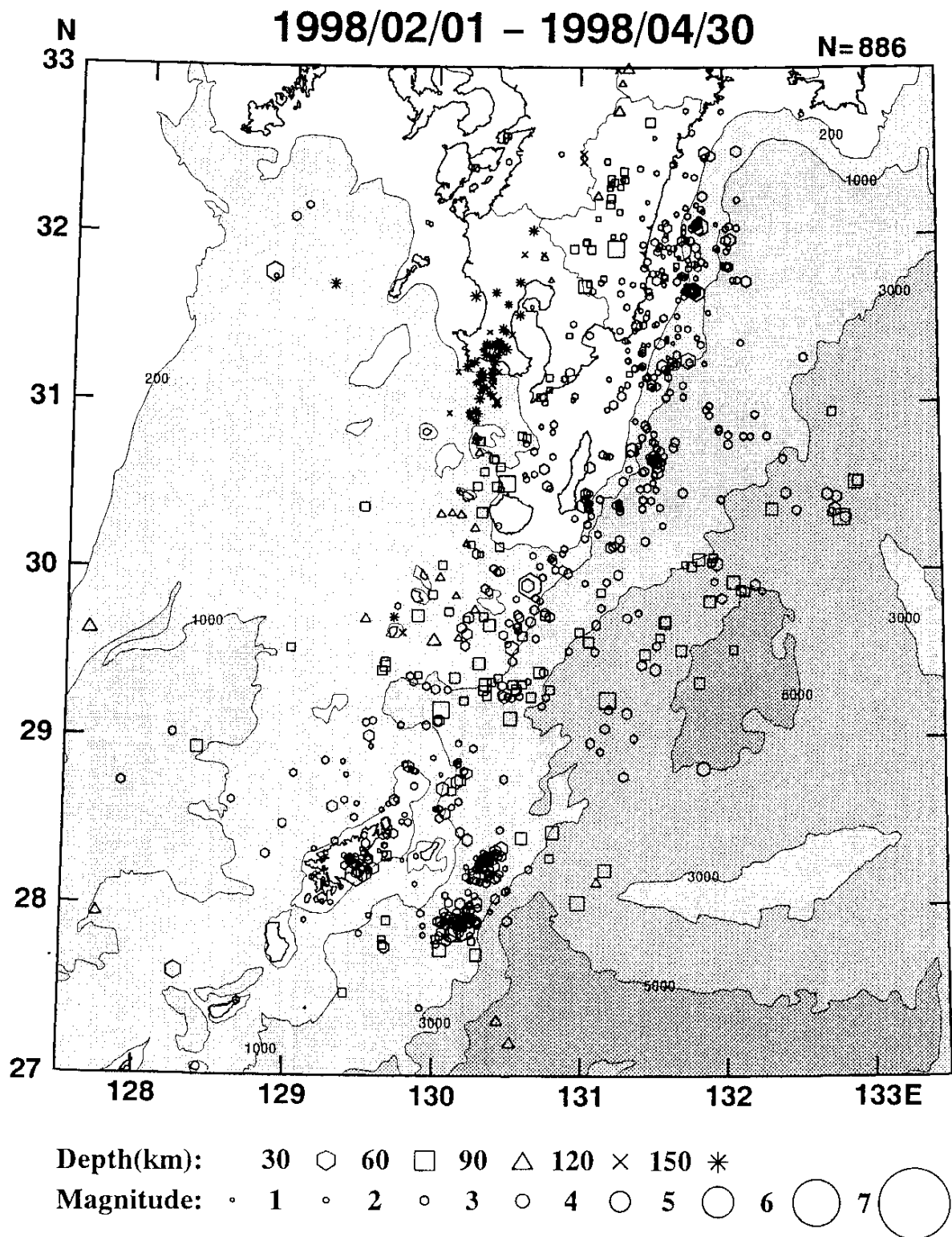
第2図 深さ ≤ 30 kmの地震の震央分布（1998年2月～4月）

Fig.2 Epicenter Distribution fro depth ≤ 30 km (Feb.-Apr., 1998).



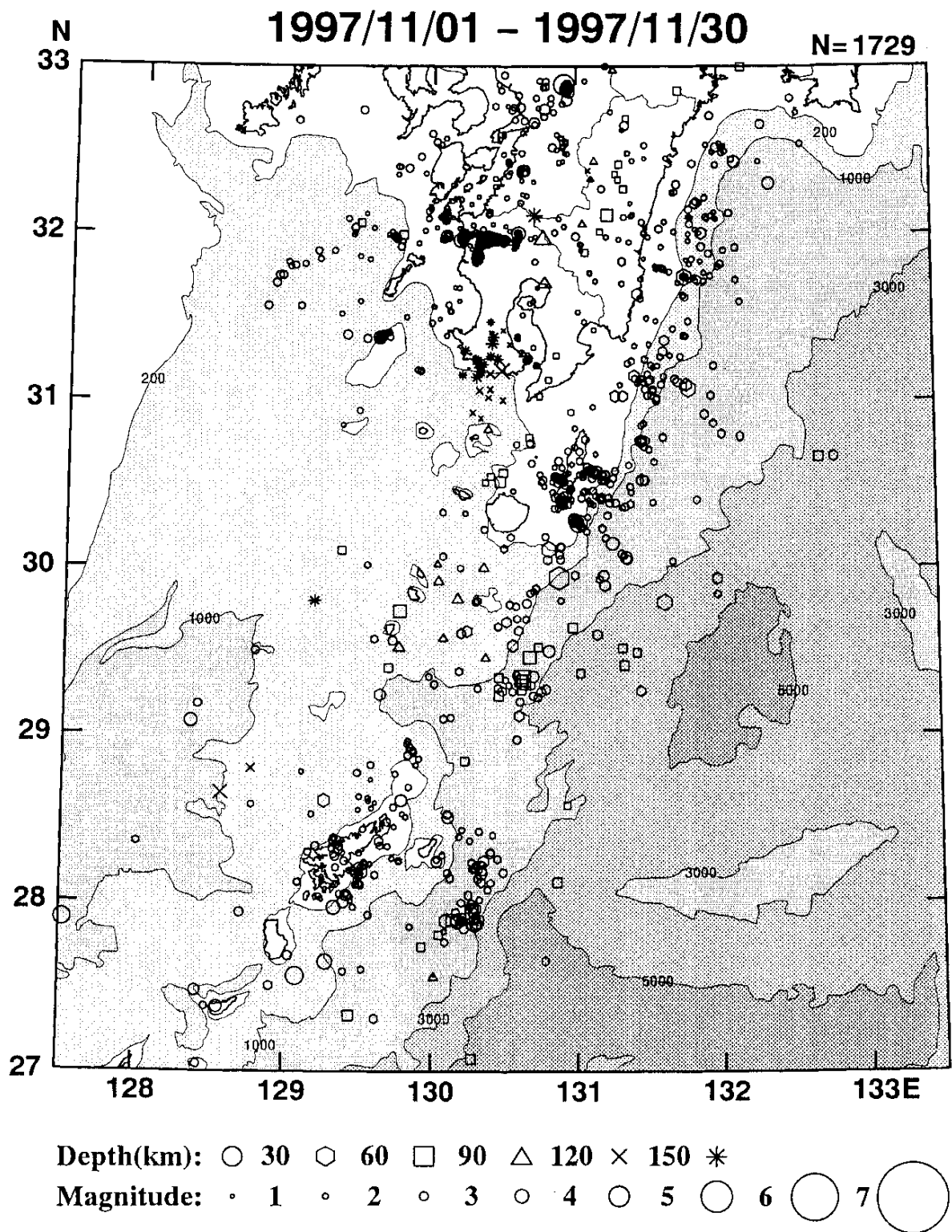
第3図 深さ>30kmの地震の震央分布 (1997年11月~1998年1月)

Fig.3 Epicenter Distribution fro depth>30km (Nov., 1997-Jan., 1998).



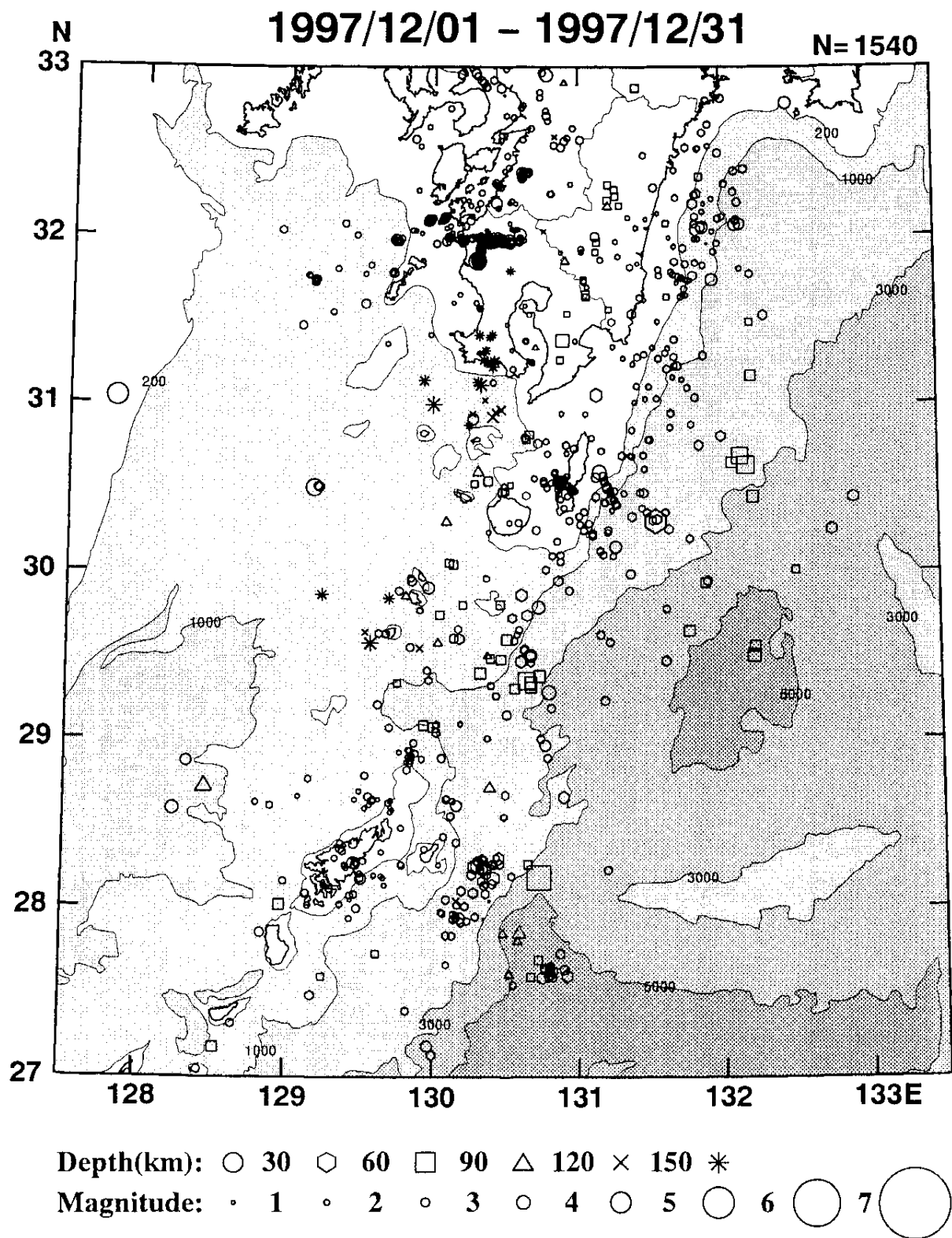
第4図 深さ>30km の地震の震央分布 (1998年2月~4月)

Fig.4 Epicenter Distribution fro depth>30km (Feb.- Apr., 1998).



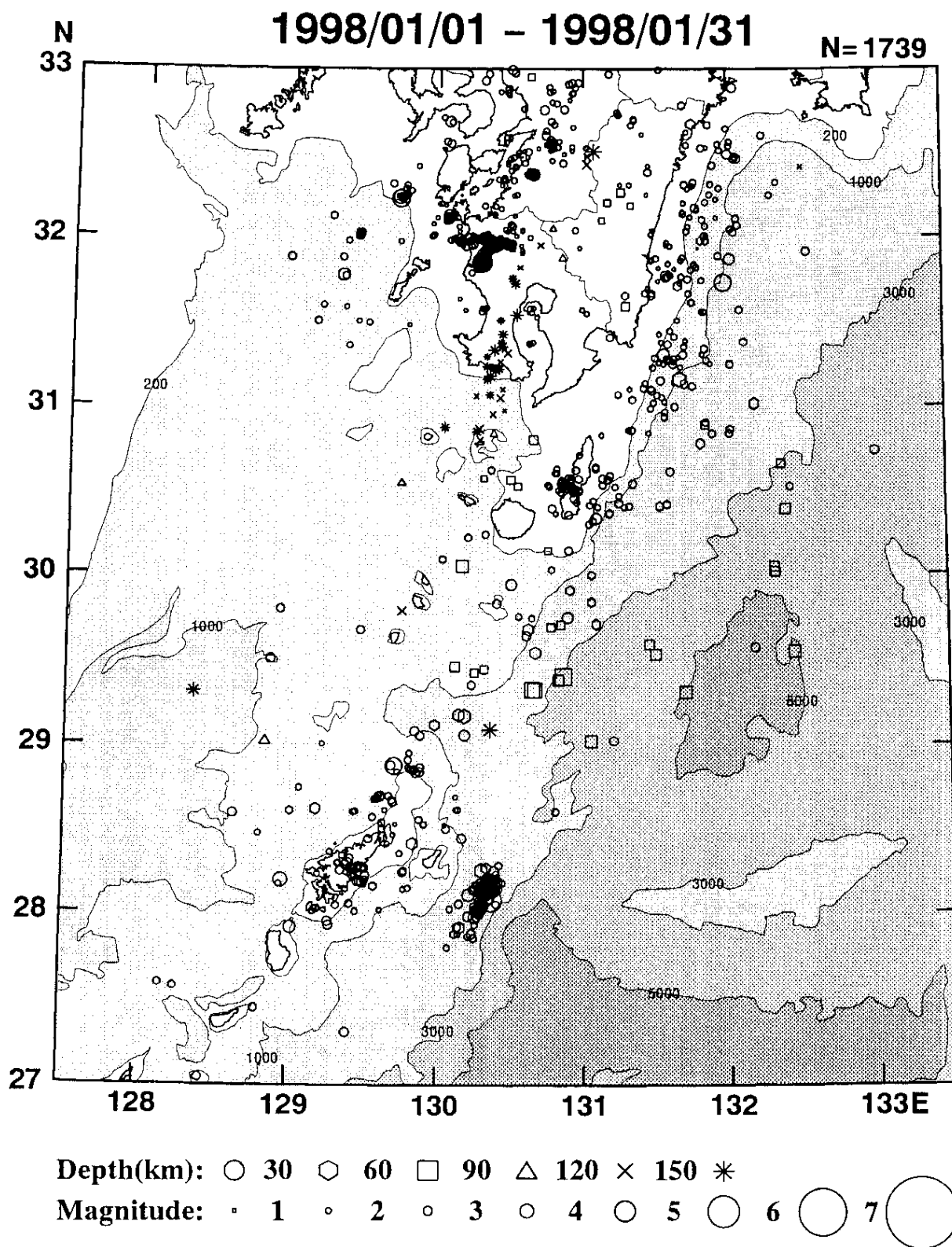
第5図 震央分布 (1997年11月)

Fig.5 Epicenter Distribution (Nov., 1997).

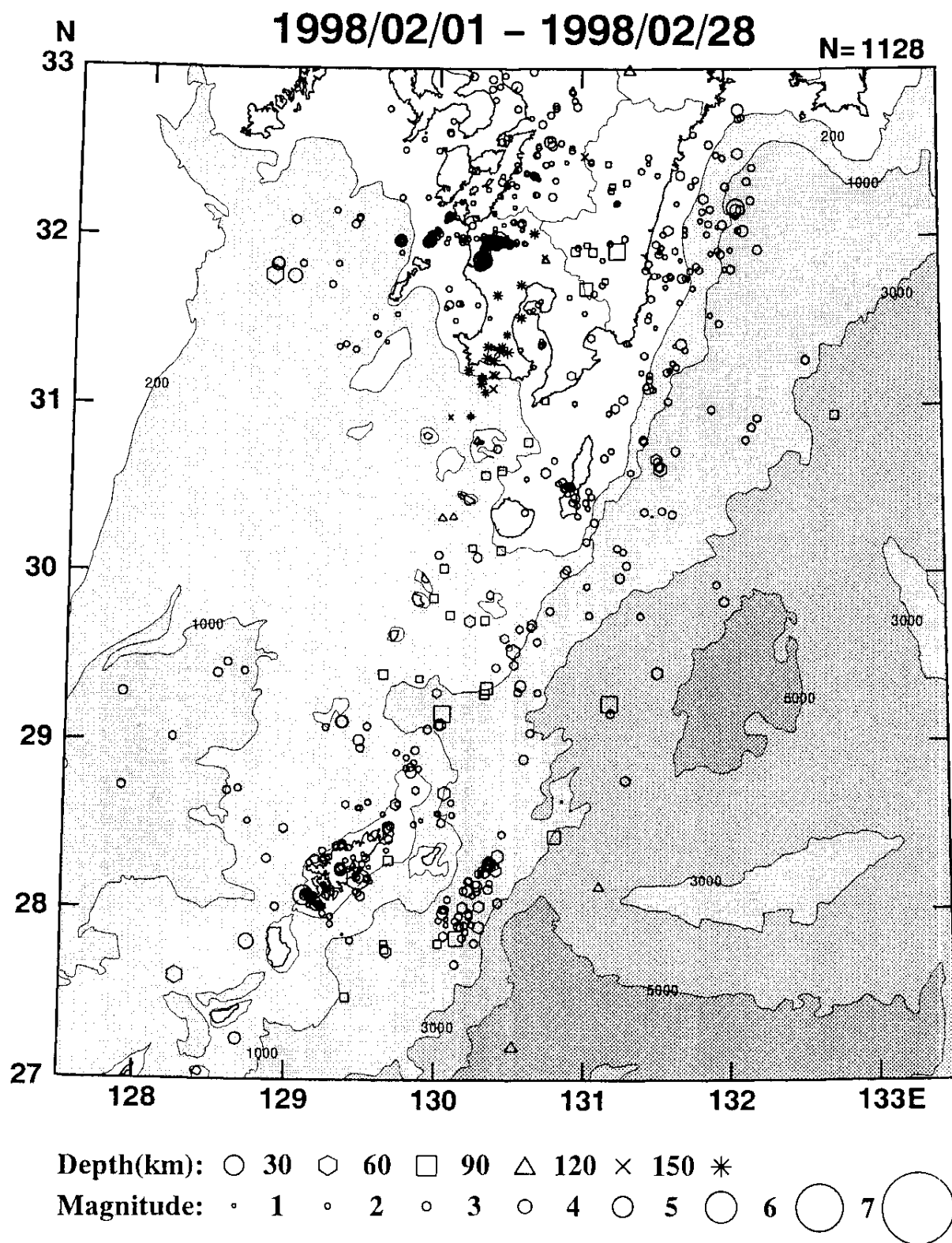


第6図 震央分布 (1997年12月)

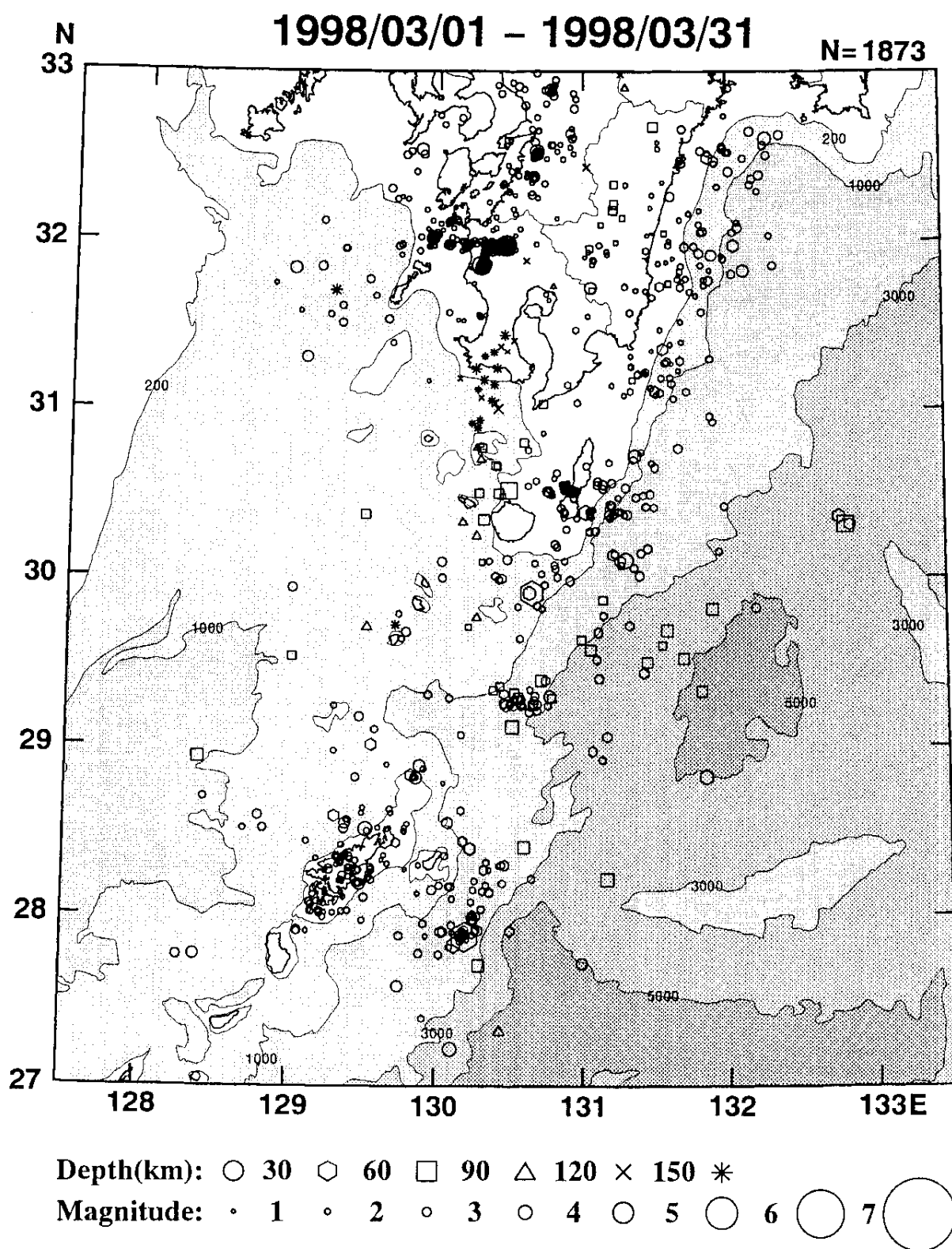
Fig.6 Epicenter Distribution (Dec., 1997).



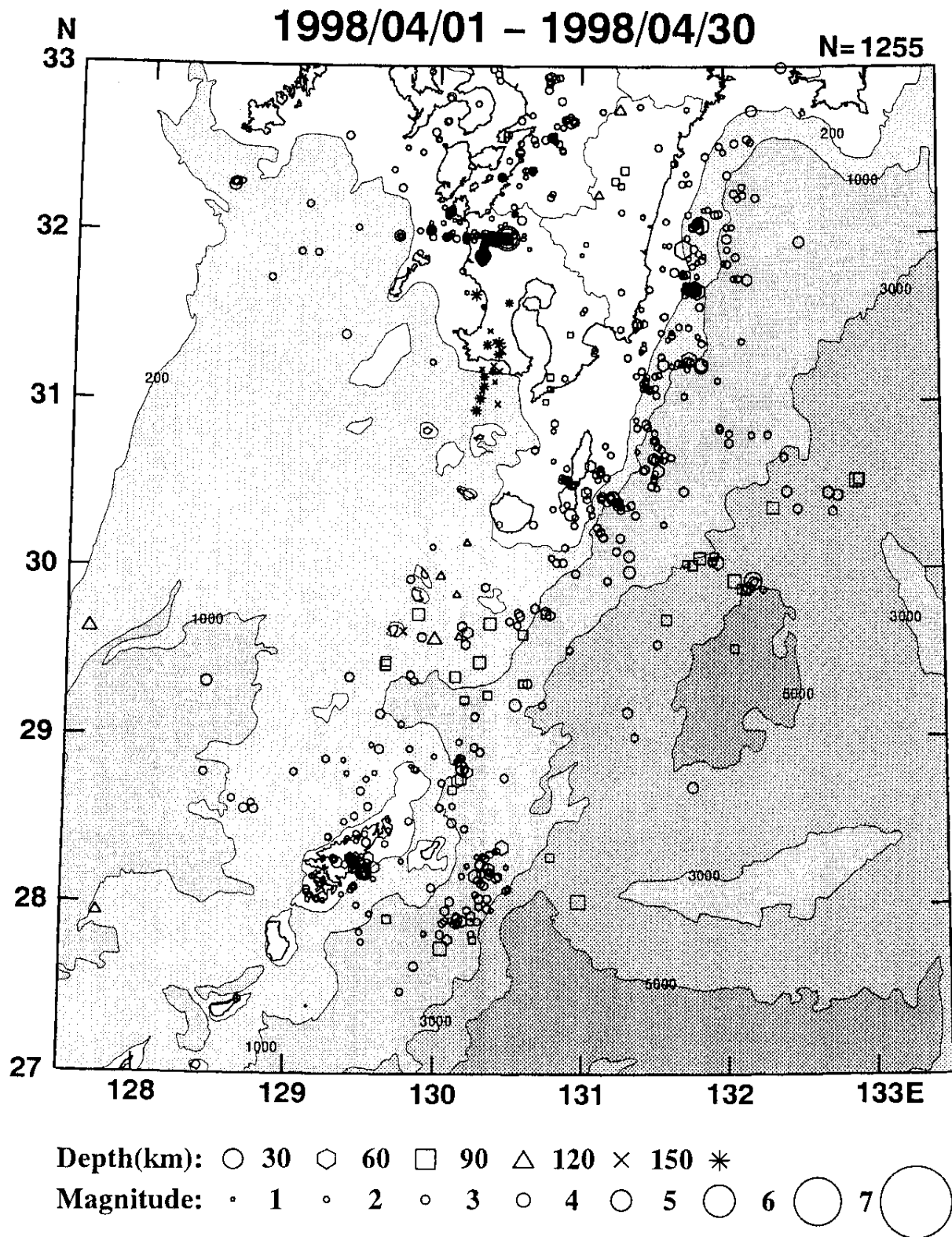
第7図 震央分布 (1998年1月)
Fig.7 Epicenter Distribution (Jan., 1998).



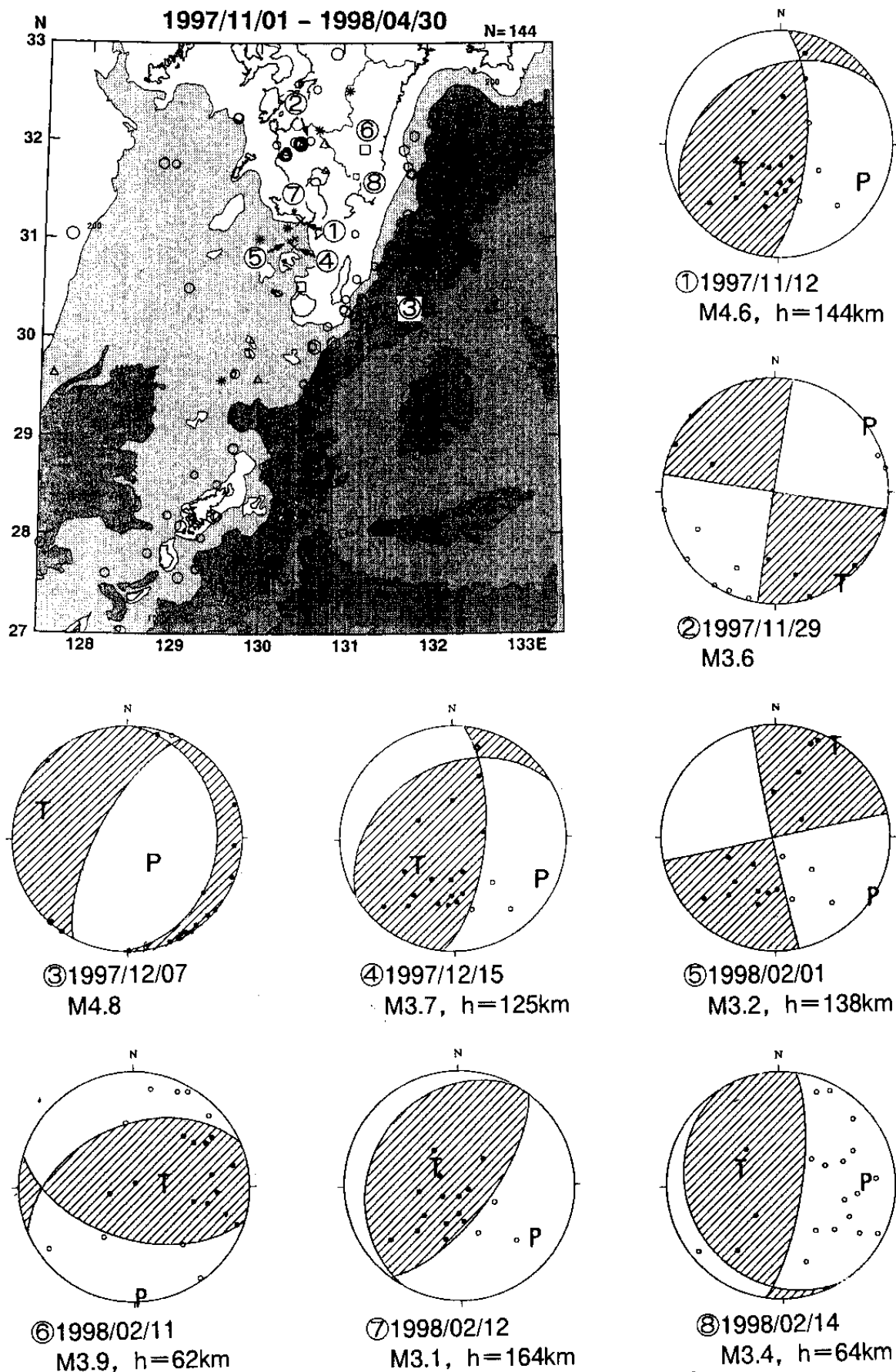
第8図 震央分布 (1998年2月)
Fig.8 Epicenter Distribution (Feb., 1998).



第9図 震央分布 (1998年3月)
Fig.9 Epicenter Distribution (Mar., 1998).



第 10 図 震央分布 (1998 年 4 月)
Fig.10 Epicenter Distribution (Apr., 1998).



第 11 図 主な地震のメカニズム解 (1997 年 11 月～1998 年 4 月, 下半球等積投影)

Fig.11 Focal Mechanism Solutions of Major Earthquakes (Nov., 1997-Apr., 1998, Equal Area Projection on the Lower Hemisphere).